

新人総合体育大会

大会結果 **【男子】優勝 菊川西 準優勝 浜岡 3位 掛川西**
【女子】優勝 菊川西 準優勝 掛川東 3位 掛川北

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 鈴木 瑛志

平成28年度新人陸上競技大会は、9月25日（日）に、エコパスタジアムで行われました。本大会は他の種目の中心日と重なっていることから、教員役員数を最小限に抑え、小笠掛川陸上競技協会役員への協力を依頼し運営しました。大会当日は、陸上競技協会の方々を中心に運営をし、全種目予定通り進行することができました。また、各中学校の3年生が補助員として協力してくれたこともあり、1、2年生の選手が補助員を外れることができ、ゆとりをもって競技に参加することができました。昨年同様、タイムテーブルは、できるだけ選手の負担を軽減させるよう配慮しました。今後も大会運営の仕方を随時見直し、より良い運営方法を目指していきたくと思っています。多くの方の支えもあり、無事大会を終えることができ誠に感謝します。御協力ありがとうございました。

団体の部の結果は、全種目で得点を取り、総合的に力を発揮した菊川西中学校が男女アベック優勝を果たしました。また、本大会では3種目で大会新記録が誕生しました。菊川西中の浅井隆さんが男子共通400m（53秒88）と男子共通110m（15秒92）、菊川西中の岡本文治さんが男子共通砲丸投（11m18）で記録を更新しました。

多くの選手が西部大会を通過し、県大会や東海大会、そして全国大会を目指し頑張っています。

優勝作文（男子の部）

菊川市立菊川西中学校 落合 晴信

昨年度の小笠中体連、小笠新人、今年度の小笠中体連と菊川西中学校は連続優勝してきました。先輩が卒業した今、この栄冠がとても大きなプレッシャーとしてのし掛かり、「菊川西中学校が強かったのは3年生がいたから。」と言われしまうのではないかと不安な気持ちがありました。

新チームとなり、練習や大会へ参加してきましたが、指示の出し方やまとめ方も分からず「このままで大丈夫なのか。」と悩んでいました。時には、「本当に私が部長でいいのか？」と不安に陥ることもありました。しかし、そんな私をいつも笑顔で支え、答えてくれる仲間がいました。仲間の存在もあり、少しずつ不安がなくなり、自信をもって指示を出すことができるようになりました。

そして迎えた小笠新人、「やり残したことはない。必ずできる。」と全員が自信をもって朝、集まりました。競技中も、全力で走る姿や応援が心の支えとなり、笑顔でスタートラインにつくことができました。閉会式では、仲間たちの満足そうな表情を見ることができ、ほっとしました。そして結果発表。「優勝は菊川西中学校。」とコールされたとき、プレッシャーから解放された、全員で喜びを分かち合いました。伝統を繋いだ瞬間でした。しかし、これで終わりではありません。来年度の『小笠中体連 総合優勝』という新たな目標ができました。菊川西中学校陸上競技部は伝統を守りさらに進化し、初心を忘れることなく、日々の練習や生活を大切に、必ず小笠の頂点を取りにまた帰ってきます。

優勝作文（女子の部）

菊川市立菊川西中学校 松下 里帆

小笠中体連男子優勝、女子準優勝。小笠新人アベック優勝、これが去年私たちと先輩方がつくった記録です。その輝かしい記録は、私たちに重くのしかかってきました。3年生が引退した今、どんなに苦しい練習でも精一杯がんばり、前を向き練習に取り組みました。そして、大会がどんどん迫ってくると、私は今まで感じたことのない緊張と、絶対にアベック優勝するという思いでいっぱいでした。大会当日、私は朝から自分の種目があり、チームのみんなの走りを見ることができませんでした。でも、私が走るとき、とても大きな心のこもった声援を聞き、私はとても幸せな気持ちになりました。どんな時でも支え合い、励まし合ってきたこのチームだからこそ必ずアベック優勝できると信じていました。結果は、2位に大差をつけての大勝利。

私はこの大会で、こんなに応援し合える仲間たちと部活に取り組めることに、とても感謝しています。このことを普通だと思わないで、常に感謝してこれからの部活動に取り組み、より強く、感動共有ができるような菊西陸上部にしていきたいです。